

百

身近な暮らしへの想い

繋げていきたい地域の想い ～八代～



八代市

古麓城は、八代市に存在した中世の山城で、かつてルイス・フロイスも訪れ、城からの美しい眺めと豊かな自然に感動したそう。現在は古麓城の歴史を知る人は少なく、しばらくは樹木に覆われ鬱蒼とした状態でしたが、2022 年夏に市民有志による城跡の整備が完了し、昔のように八代の街を一望できる市民憩いの展望広場へと姿を変えました。郷土の歴史や自然を後世へ継承する難しさと、故郷を想う心やその行動力に大きな刺激を受けました。n/m

今年の登り初めは… 宝満山！！

身近になったチャッピー

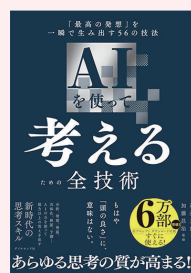


太宰府市

宝満山は、大宰府の鬼門に位置し、修験道の歴史が色濃く残る山です。竈門神社は山頂・山腹・麓に社殿を構え、山と神社が一体となった信仰の場として

知られています。登山では坊跡や仏教遺跡から時代の面影を感じ、帰りに立ち寄った竈門神社では鬼門とおたふく門をくぐり、鬼を払い福をまねく参拝方法を体験！福を招きいれたかな？？今年は南南東だそうです。t/b

ChatGPT を始めたとして AI は特別なスキルがなくても使える身近なツールとなりました。難しい操作や専門知識は不要で、知りたいことを「話しかける」だけで活用できます。使い道がわからなければ AI に相談すれば、色々な提案してくれます。音声会話機能を使えば、人と話す感覚でやり取りができます。身近な相談相手として触れてみてはいかがでしょうか。この文章も AI 要約です。k/s



折

身近な環境への想い

身近な大切な想い



南小国町

身近な土木文化への想い



美里町

令和 7 年 8 月の豪雨災害では、多くの河川や道路で被害が発生し、石積構造物の被災も数多く確認されました。石積は古墳時代から用いられてきた歴史ある土木文化で、乱積や布積など多様な形式があります。身近な石積の種類や形状に目を向けることで、日常の中で土木文化の歴史や役割を感じることができます。r/k

異国文化への想い～アフリカ（タンザニア）～



Jenelle

晴耕雨読で何度か紹介したことがあるマック一家。アフリカへ帰国後も来日した時は必ず会いに来る 10 年来の友人です。お互い英語と日本語が話せないが、彼らの陽気さで毎回笑いが絶えない。人と人との繋がり、言葉だけでなくお互いをリスペクトし合える気持ちなんだと改めて感じました。写真は長女のジェネール。t/b

学術創新～古きを学びて新しいモノづくり

残したい風景



阿蘇市



美里町

幾度もの災害にも負けない二俣橋！

逆さ阿蘇

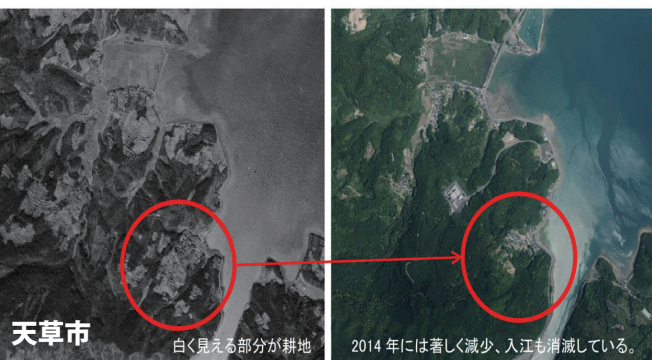
私の郷土である熊本は、九州の中心に位置しており、豊後、豊前、日向、南郷往還などの結節点として栄えてきました。近年では、渋滞解消のための道路づくりや、熊本空港アクセス鉄道の事業開始など目まぐるしく状況が変化しています。日本の社会・経済・生業・文化などの歴史や各時代における道のあり方などを学び、これからの道づくり・川づくりなどの発展に取り組んでいく必要性を感じます。左記スケッチの狐が加えている『巻物』はどんな願いもかなうという稲荷の秘法を表すシンボルなんだとか…。土木文化の秘法をキャッチ出来る年としたいです。k/n

不

身近な土木文化への想い

海運から陸運の歴史変遷

天草海岸保全事業の一環で海岸堤防施設（観音海岸・井出迫海岸）調査に携わる中で、特に印象深いのが天草市海岸道路の歴史変遷でした。昭和前期の海岸周辺は半農半漁暮らしの海運が主流でしたが、今日では漁港の面影が少なくなり、過去航空写真と比較すると海岸周辺の耕地や入江が著しく減少しています。当時は地域間を繋ぐ石造眼鏡橋をはじめ周辺道路が徐々に整備され、昭和 41 年の天草五橋開通以降、本格的に陸運主流として海岸道路が生活を支えています。道路事業（土木）は、海岸地域の生業や歴史文化の変遷を象徴し、地域の活力や発展、安全・安心を担う重要なインフラです。t/m



天草市

白く見える部分が耕地

2014 年には著しく減少、入江も消滅している。

文化的視点からみる「中道橋」



御船町

御船町の中道橋は、安政 2（1855）年の架橋で全長 4.2m の小さな眼鏡橋。輪石が落ちて危機的状況で、このような状態で保持されています。熊本藩では郡と村の間に手永という行政区分があり、長である惣庄屋のもとで自主的にインフラ整備などを進めていました。小さな橋ですが、実はその歴史を雄弁に物語っています。a/t

J R 肥薩線（1903 年 1 月 15 日開業）



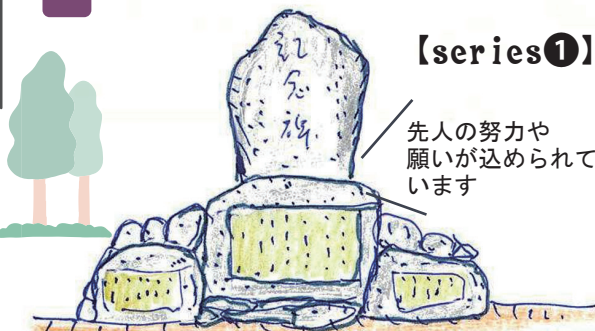
ロックボルトを使っています

JR 肥薩線（球磨村）

八代から人吉間の JR 肥薩線は R2 年豪雨で不通となっています。左写真は、肥薩線の在来トンネルですが、地域の生活道路や工事用道路として利用されています。鉄道が道路に上手く利用された良い事例です、鉄道が復興に大きく貢献しています。h/n

撓

1 自然災害伝承碑の紹介



【series①】

先人の努力や願いが込められています

自然災害伝承碑とは、過去に起こった洪水、地震、土砂災害などの状況や教訓を後世へ伝えるため被災地に建てられた石碑です。上スケッチは、阿蘇カルデラ内の水田の中にある「第 13 土地区画調整記念石碑」。洪水等の災害に苦労した場所であり、碑文には、洪水や豪雨の復旧に関係者が時間を要し財源難に苦労した事が書いてある。h/n



阿蘇牧野

牧野調査で遭遇したあか牛

阿蘇の草原はあか牛の放牧と野焼きを繰り返すことで 1000 年以上維持されていますが、30 年後には 6 割の草原が消えてしまうとも言われています私達に何ができるのか？

編集後記

2026 年がスタートし 1 ヶ月が経ちました。如何お過ごしでしょうか？今回は「残したい、繋げたい地域の様々なこと」を keyword に 79 号を作成しました。20 代から 70 代のメンバーが日々の中で感じたことを、紹介しています。見てごしなさい～ t/b

2026 も SuguDekirukoto Ganbarimas

